

I-0053

0113

I-0053

0119

分類 I / 3.0.11-1

滿 外 務 省 對 滿 事 務 部	昭和十三年五月十四日	普通教第二六號
對滿事務局次長 原 邦道	外務次官 堀内 謙介	在滿帝國大使館教務部長 今 吉 敏 雄 殿
「臨時ローマ字調査會議事録」送付ノ件		
首題印刷物今般文部省ヨリ送付越候條右上下各一部及送付候		

内
閣

135判洋製紙(十四行野)

件
本
部
國
務
省
文
書
課
附
屬
機
關
印
刷
局
送
付
金

杉本 五二

先取貴族院に於て米國の二大都市に開催
せらるゝ世界博覽會に我國より出品せる陳列
品の名称を表示するローマ字を文部省或即ち鎖
國の總務方に統一する件に關する一議員の質問に
對し八田南二大臣の答は是れは果然在米外國に
多大の衝動を興へ我國の好意を有する米人間に
事か日本親善に悪影響を及ぼし折角我文化藝
國産品に對して一般米國民の理解を深めんとする努力
が反つて誤解と反感を招く結果に終らざる可き憂慮
せられつゝある事は五月十六日發行のヤバシアドヴァイサー
紙上外人の論評並に十七日附同紙社説に徴して充分
了解せらるゝ事と被存候。目下日米關係の好轉を必要と
する時機に際し南二大臣の思慮を熟したる答辯は返
すも吾人の遺憾とする所に有る候につき茲に閣下の
御考慮を煩へ度如斯御座候也 頓首再拜
昭和十四年二月二十二日

杉並区高圓寺二丁目三三〇 開田伊平

土屋 三

外務大臣 有田八郎 殿

照
合
票

第

號

件 記
名 録

昭和

年

月

日

(分類 I / 3. 0. 11.)

受
信
者

件
名

願書ハ左記ニ在

記

門
類
項
目
號

日本語の大東亞普及

日本音字・ローマ字會

香 川 義 一
KAGAVA GIITI

大森・新井留5丁目534

I-0053

0117

外務次官

西春彦殿

香月義一

記

おれ、先日は國語運動のことで、西春彦閣下
にありがとうございました。思の程は心魂に激し
余尚深く肝銘致し居ります

爾来不惜身命の精神で研究に専心
しついに日本語大衆普及の具体案を
案出—たうが—あります。それこそ
作せりやう

分類 I. 130. 11

友之

笑明、具体案と添へて、東條總理大臣に
建白書を差し出したのであります

それから建白文・記載の印刷物と数言部
情報局に差出し、それ、関係官廳の事
事に配布方をたのむて来ました

尚情報局當事者もこれを問題化

す意志を持つて居りますから私が建
した日本音字制定委員会は近頃のうちに
出現すると信じて居ります。従つてこの
委員会が設置されるは理想的世界最
優秀者の最優秀文字が制定されるによつて
日本語は本東洋の天地に潮々如き勢で

進駐してゆくと思ひます。尚日本音字の制定
は現在東印度諸島に於けるイギリス式と
ポルトガル式とを比較してポルトガル式を
採用することに決まっています。ポルトガル
式を一つに統一することは日本文化の見識か
ら言へば、東印度諸島の統治のよから

言つても寸刻も遅く新行しなければなら
んと存じます。その意味から言つても日
本音字の制定は急を要するのであります。
それで私は今文部陸軍海軍情報局、学典
外務、逓信、拓務、企画院、翼賛会、議会等
を始めとして関係者と麻訪し、建白書の

内容については委細説明して居るのと
あります。外務省などは日本音字が制
定されるは日本語の国際電報は三合の
能率があがると存じます。このように、
この問題は純然たる國家事業でございますが
政府が先きに立つて動かないため、私が

も并、当で苦勞して居るものとあります
それで今日の要件は、少運、勅費と、
東條、いなき、と御願ひは上つた
次第であります。二月も、好かすれば、政
府が必ず、勅と存して、おろします
では、一、兩、田、中、に、奉、上、致、ま、す、か、ら、う、ら、い、ま、す
御配慮、と、御願ひ、致、し、ま、す

戦争だ!!日本語を全アジア民族にひろめる日本語ローマ字の発見
 ABCD(エービーシーデイ)の崩壊とABCD(アブシド)の出現
 (日本語) **ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ**
 ア ブ シ ド エ フ グ フ ァ イ イ グ ル ム ヌ オ プ ク ル ス ツ ウ ウー エ キ ス イー Z
 (母音はアイウエオ 子音は全部ウ韻で読む ツマリ音はCハネル音はN)

日本語ローマ字電報は世界一速い

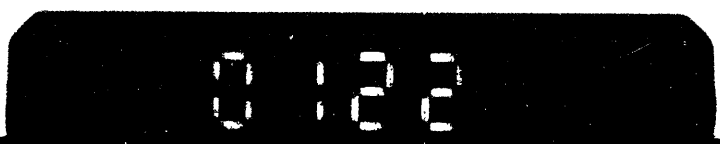
(日本語) (ローマ字)	(英語) (ローマ字)
stamp	sutampu
スタンプ	
matmsi	matsumushi
マツムシ	
program	puroguramu
プログラム	
utksy	utsukushii
ウツクシイ	
orinpick	orimpikku
オリンピック	
twsin	tsuushin
ツーシン	
aiskrym	aisukurimu
アイスクリーム	
sinzjuk	shinjuku
シンジュク	
raesjuawa	rasshuawaa
ラッジュアワ	
yuraktyo	yuurakutyoo
ユーラクチョー	

噫!!七十年間エライ間違ひをしてゐた我が國のローマ字論者
 維新革命以來今日迄七十年間日本のローマ字論者はエライ間違ひをしてゐました。それはローマ字で日本語を書くに當りアルハベットの一字一字の名前を日本語讀みに直さずに英語讀みそのまゝを使用したことでもあります。これは足のあはない他人の靴をそのまゝはいてゐたやうなものです。この爲にヘボン式ニッポン式論者が数十年にわたつてローマ字國字運動をつげたにかゝらざローマ字は一字と言へ共國字にならなかつたのであります。若しヘボン、ニッポン式ローマ字論者が母音のa(i)(j)u(u)(w)eをアイウエオと讀むように子音のh k g p b m s z n t d rをフクグプブムツムズツドルとゆふように日本語で讀むならばスタンプはstanpマツムシはmatmsiと書かれ文字の名前と言葉が一致し綴も短かくかつ讀むにも書くにも非常に便利となつてゐたのであります。しかるに我が國のローマ字論者はABC(アブシ)をエービーシーと英語讀みそのまゝを使用したのでスタンプはsutampuツムシはmatmsushiiとゆふように長たらしい書き方となつたのであります。私は十八年間の苦心研究によつてローマ字國字化の原理は獨伊英米を初めローマ字使用國民全部がやつてゐるやうにアルハベットの一字一字を自國語で讀むとゆふことであることを見出したのであります。私は近かくこの原理發見を、戦時下東條内閣に建白致します。私は東條内閣が一度この原理發見を採用したならばローマ字は漢字カナと同様即時に國字になると共に日本語は大河の遺する勢でアジア十億人民にひろまつてゆくことを確信して居ります。
 東京・大森・新井宿五丁目五三四 香 川 義 一

恩人 (日本語の滿支南洋發展のため援助して下さいました方々)

森村市左衛門殿	吉川一郎殿	安場保健殿
根津嘉一郎殿	清水揚之助殿	清水與七郎殿
矢野恒太殿	原耕三殿	野依秀市殿
澁澤正雄殿	斯波孝四郎殿	菊本直次郎殿
青木菊雄殿	青木信光殿	澁澤秀雄殿
志立鐵次郎殿	清岡英一殿	穂積重遠殿
板谷宮吉殿	石原廣一郎殿	長尾欽彌殿
橋本圭三郎殿	池田成彬殿	宮島清次郎殿
川喜多長政殿	武藤與市殿	前川太郎兵衛殿
相馬半治殿	井坂孝殿	富岡俊次郎殿
鈴木三郎助殿	小野耕一殿	山崎達之輔殿
有田八郎殿	松岡洋右殿	本多熊太郎殿
野村吉三郎殿	及川古志郎殿	山脇正隆殿
原嘉道殿	眞野文二殿	山本熊一殿
松平康昌殿	近衛公祕書殿	徳川慶光殿
西春彦殿	和田三造殿	望月軍四郎殿
中根貞彦殿	三井銀行殿	三菱銀行殿
三井總元方殿	三菱本社殿	安田保善社殿
古河合名殿	井上憲一殿	日本郵船殿
山田英吉殿	第一生命殿	三井生命殿
山本海軍大將	秋場要殿	山本達雄殿

この外軍人、官吏、銀行會社員、醫師、藝術家、學者、學生、商人の方が援助下さいました。



NICPON ONZI

ローマ字書道

日音字
建白
特輯號

七月號

ローマ字書道 第二十五號 昭和十七年五月十日（即月十日）印刷發行
第三號 郵政省認可

I-0053

0123



日本語の大東亞普及と日本音字制定について 内閣總理大臣東條英機閣下に建白致します

香 川 義 一

前おきを抜き直言致します。現在大東亞十億の民は、アジアの盟主日本を信頼する情念に燃えてゐると共に、更に進むで日本を知るために日本語習得の意欲に燃えて居ります。これは嚴然たる事實であります。尙この情念は單なる情念から生じたものでなく、彼等が日本と共に生きてゆかうとする、現實に即した生活意識からであります。従つて我が日本は、この意欲に對し親心を持つて答へなければなりません。

日本語を大東亞十億人民に教える最善の方法は、現在、我等日本民族が幾千年の昔から親から子へ、子から孫へと口傳されて來たやうに、日本語を彼等大東亞の民に口傳することであり、しかしこれは地域とか、民族とか、生活環境等が近似してゐる場合にのみ、ゆるされた方法であつて、地域が廣大であり、かつ我彼の民族及び生活交流の甚しく相違してゐる場合は到底望めません。従つて日本語を教えるとゆふことは、不動であつても、その教え方に、それぞれ適當の手段を工夫すべきであります。それはあだかも赤兒を育てる場合、親の乳が足らなかつた時は、オモ湯とか、牛乳を用ひる考へと同じであります。現在アジアの民は十億以上であります。それに對し日本は一億足らずであります。しかも、この一億の人間が悉く大東亞人民に接觸するわけではありません。加ふるに地域は廣大であり、かつ教養の程度も大いに相違してゐるのであります。従つて日本語教育に當つては、我等が生れながらにして、親から祖國語を教へられたやうにはまひらぬのであります。しかし、それかと言つて、我等は日本語を習得したいとゆふ新府の民や友邦民族の意欲熱情に對し手をこまねいて望觀することは許されません。昔から必要は發明の母と言はれてゐるやうに、我等日本民族はいかにもしてこの渴望に答

へるために一工夫しなければなりません。即ち日本語がいちいち口傳出來ないならば、我等は口傳の補助として、文字を使用するより致方がないのであります。この文字の使用こそは、口傳の不足を補ふものであり、寐を持つて衆に當る最善の方法であります。

ところが此處に考へなければならぬことは、文字の質であります。一概に文字と言つても、言語を傳へるに不便な文字もあるし亦比較的容易に言葉を傳へる文字もあるのであります。この事情から見て、日本の國字の状態を見ますに、日本の國字である漢字、ひらかな、カタカナは日本語の本質を傳へるに殘念ながら適してゐないのであります。我等日本民族が今日本語が自由に話せるのは、漢字、カナによつて教へられたのではなく、漢字、カナを一字も知らなかつた乳兒の時から母の胸で口傳によつて教へられた賜物であります。即ち日本民族のことごとくは、國民學校で漢字カナを教えられる以前に日本語が話せたのであります。

従つてすでに日本語が話せる子供に漢字カナを教えるのと、日本語を少しも話さずの出來ない新府の民や友邦民族に漢字カナを教えることは、重大なる相違があるのであります。漢字カナが日本語をあらはすに適してゐないとゆふことは、科學的にハツキリ説明出來ますから、このことは専門委員にくわしく説明することゝしまして、要點だけを簡単に申し上げます。

言葉とゆふものは、音聲から成り立つてゐますが、この音聲とゆふものは多少の相違はありますが、全體的に連關してゐる有機的存在であります。然るに漢字、カナは一字一字がテンデバラバラで文字と文字とに何の有機的連關もありません。これをたとえてゆふと、言葉は液體的であり、漢字、カナは、固體的であります。

即ち固體を見て液體を連想することがむづかしいやうに、我等は漢字カナから音韻によつて出來てゐる言葉の本然の姿を連想することは至難であります。従つて大東亞の民に漢字カナを持つて日本語を教えるとゆふことは、乳幼兒に固形物を與へるやうなものであつて、消化不良におち入ることは火を見るよりも明かであります。大東亞十億人民が心から望むてゐるのは、漢字カナの習得ではありません。彼等が真に望むてゐるのは、疑ひもなく我等日本民族が生れながらにして母の胸で教へられた眞の日本語であります。我等日本民族は天孫民族の名においても亦アジアの盟主たるの實錄に於いても、この新府友邦民族の望みを、親心を持つてかなえてやらなければなりません。

日本語普及の具體案 日本音字の制定

我等日本民族は祖國の言葉を、母親の胸で教へられました。従つて我等は新府の民であり、友邦民族である大東亞人民に、自から息吹のこもつた聲で教へてやりたい。しかし地域の廣大と、環境の相違と、生活事情の相違は、それを許しません。従つて我等は今この息吹に代る何物かを見出さなければなりません。それは文字であります。即ち人乳に代つて牛乳が用ひられたやうに、日本語の音韻にもつとも近似してゐる表音文字の制定であります。この文字の制定こそは、必ず大東亞十億人民の日本語習得を容易ならしめ、アジアの天地を日本語一色化すると共に、日本文化の恩澤をアジア全體に光被せしめる素因となるのであります。

現在表音文字として一番廣く用ひられてゐるのはローマ字であります。しかしこのローマ字は表音文字として非常に欠陥がありまして、獨伊、英、米、佛ことごとく表音法が違つてゐるとゆふ有様であります。このように歴史的に見ても、世界共通性のない音字であり、かつ私の十九年間の研究から見ても、音字として多くの欠陥があることは判明してゐるのであります。従つてこのやうなローマ字では、日本語の音韻を正しく傳へられないのであります。今我等日本民族は大東亞の民に、祖國語である日本語を教へようとしてゐるのであります。即ちいかに正しく、かつ我等が母親から教へられたやうに

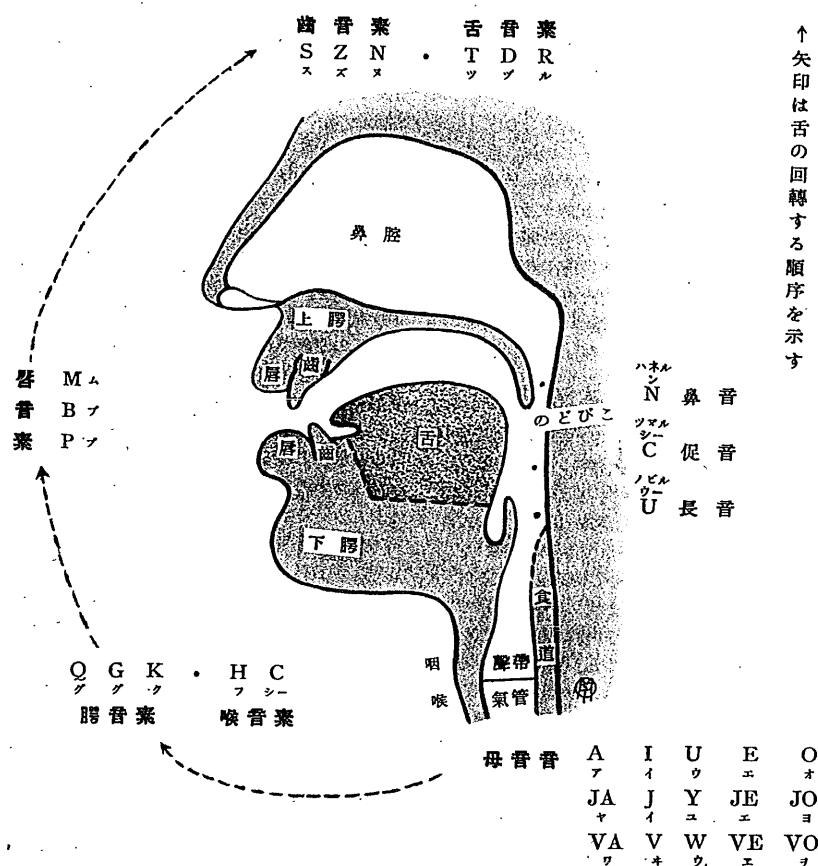
樂々と教えられるかとうことであります。従つてこの目的を達成するには、舊來の陋習にとらはれず、正しき理念と科學的研究に立脚して具體案を創造すべきであります。私は十九年間の研究で言語の音韻組織を發見致しました。表音文字が人類の音韻を現す文字である以上、音字制定の根據は當然此處におかるべきであります。今や日本語の大東亞普及はセキを切つておとされてゐるのであります。されどその方法が漢字、カナによつてゐるため、日本語の普及どころか、反對にマレー語、支那語、滿洲語の逆輸入の状態であります。我が日本民族はアジアの盟主であります。指導者であります。我等はかような状態を默視することは出來ません。しかも、この原因が判明した以上、我等は一日も早く、日本語普及のため日本語の音韻をあらはす正しき日本音字の制定を望む次第であります。

日本音字の制定は、政府が日本音字制定委員會を設置すれば、一ヶ月を出でずして日本音字は制定されると思ひます。一度日本音字の制定を見んか、それこそ日本語は大河の潰する勢を持つて、大東亞の天地に普及することを、命をかけて斷言致します。

以上の次第であります爲政府は即時、日本音字制定委員會を設置し、文部、軍部、外務、内務、逓信、拓務、企劃院、情報局、樞密院、議會等を始めとして、それぞれ關係者を集め、寸刻も早く日本音字の制定にとりかゝるべきであると存じます。次に日本音字の制定は單に日本語をアジアに普及することに役立つばかりでなく、將來に於いて大東亞民族の國字を一元化するといふ深遠なる意義を持つてゐるのであります。尙現在國際的電信字母はABCローマ字であります。従つてABCローマ字以外の文字を使用してゐる我等アジア民族は、國際電信に於ては外國語を使用せざるを得ないといふ屈辱をなめてゐるのであります。こうした點に於ても我等は國際電信字母のローマ字一元化を改廢せしめ、世界の何れの國からでも日本音字により自國語の電信がうてるやうに企途すべきであると存じます。以上の理由を述べ内閣總理大臣東條英機閣下の賢慮に訴へた次第であります。

尙漢字、カナの教育は、日本語が大東亞の天地にひろがつてからでも、決しておそくはありませんことを付記しておきます。

人類の音韻圖



字母制定の科學的根據

日本語字が子音字を 14 とし、母音字を 15 字ときめたのは、子音が齒の數と同じように 14 段にわかれて居り、亦母音が手足の指と同じく五つにわかれてゐる爲である。尙母音字を 15 字としたのは、實用上からの發明である。即ち人類の音節は 14×5=70. 音節であり、この 70 の音節がそれぞれ系統的に分類されてゐるのであるが、その分類音を示すには、歐米流のように、子音字をとりかへるのと、日本流のように、母音字をとりかへるのと、二つのやり方がある。しかし區別すると云つても、目的は實用のための區別である。従つて歐米流のように、子音で區別すれば、スィ・シは si・shi となり、ツ・チュは tsu・chu となるが、日本流のように母音で區別すれば、スィ・シは si・sj となり、ツ・チュは t・ty となるのである。子音主義の歐米流が優れてゐるか、母音主義の日本流がすぐれてゐるか、一目瞭然であらう。

日本語字國語音韻圖 (字母 29)

母音素	A	I	U	E	O	ja	j	y	je	jo	va	v	w	ve	vo
子音素	a	i	u	e	o	ja	j	y	je	jo	va	v	w	ve	vo
	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	イ	ユ	エ	ヨ	ワ	ヰ	ヱ	ヰ	ヱ
	シ	フ	ク	グ	ク	シ	フ	ク	グ	シ	フ	ク	グ	シ	フ

カツコ内は代用文字、新字が使用される迄は代用文字を使ふ。

喉音	(c)ja	i	u	e	o	ja	j	y	je	jo	va	v	w	ve	vo
	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ビヤ	ヒ	ヒユ	ヒエ	ヒヨ	フワ	フヰ	フ	フヰ	フヱ
唇音	ka	ki	ku	ke	ko	kja	kj	ky	kje	kjo	kva	kv	k	kve	kvo
	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ギヤ	ギ	ギユ	ギエ	ギヨ	グワ	グヰ	グ	グヰ	グヱ
舌音	ga	gi	gu	ge	go	gja	gj	gy	gje	gjo	gva	gv	g	gve	gvo
	カ	キ	ク	ケ	コ	カヤ	カ	カユ	カエ	カヨ	クワ	クヰ	ク	クヰ	クヱ
歯音	pa	pi	pu	pe	po	pja	pi	py	pje	pjo	pva	p	p	pve	pvo
	バ	ビ	ブ	ベ	ボ	ピヤ	ピ	ピユ	ピエ	ピヨ	プワ	プ	プ	プヰ	プヱ
舌音	ba	bi	bu	be	bo	bja	bi	by	bje	bjo	bva	b	b	bve	bvo
	バ	ビ	ブ	ベ	ボ	ビヤ	ビ	ビユ	ビエ	ビヨ	プワ	プ	プ	プヰ	プヱ
歯音	ma	mi	mu	me	mo	mja	mi	my	mje	mjo	mva	mv	m	mve	mvo
	マ	ミ	ム	メ	モ	ミヤ	ミ	ミユ	ミエ	ミヨ	ムワ	ム	ム	ムヰ	ムヱ
歯音	sa	si	su	se	so	sja	sj	sy	sje	sjo	sva	sv	s	sve	svo
	サ	シ	ス	セ	ソ	シヤ	シ	シユ	シエ	シヨ	スワ	ス	ス	スヰ	スヱ
舌音	za	zi	zu	ze	zo	zja	zj	zy	zje	zjo	zva	zv	z	zve	zvo
	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ジヤ	ジ	ジユ	ジエ	ジヨ	ズワ	ズ	ズ	ズヰ	ズヱ
歯音	na	ni	nu	ne	no	nja	nj	ny	nje	njo	nva	nv	n	nve	nvo
	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ニヤ	ニ	ニユ	ニエ	ニヨ	ヌワ	ヌ	ヌ	ヌヰ	ヌヱ
舌音	ta	ti	tu	te	to	tja	tj	ty	tje	tjo	tva	tv	t	tve	tvo
	タ	チ	ツ	テ	ト	チヤ	チ	チユ	チエ	チヨ	ツワ	ツ	ツ	ツヰ	ツヱ
歯音	da	di	du	de	do	dja	dj	dy	dje	djo	dva	dv	d	dve	dvo
	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド	ヂヤ	ヂ	ヂユ	ヂエ	ヂヨ	ヅワ	ヅ	ヅ	ヅヰ	ヅヱ
舌音	ra	ri	ru	re	ro	rja	rj	ry	rje	rjo	rva	rv	r	rve	rvo
	ラ	リ	ル	レ	ロ	リヤ	リ	リユ	リエ	リヨ	ルワ	ル	ル	ルヰ	ルヱ

長音は u、促音は e、撥音は n を書く。例 oukij (大きい) kyusyu (キューシュー) stock (ストック) weta (賣つた) stanp (スタンプ) tanqi (タンイ) sinqyu (シンユー) n. の次の q は發音しない。

【音韻圖に添へて】新字はヤエヨ、ワエヲの六字です。これは一音素一表字の立場から言つても正しく、かつ使用上から言つても便利ですが、まだ一般にひろまつてゐませんから、當分の間、ヤエヨは ja, je, jo, ワエヲは va, ve, vo, の代用文字を使ふことにします。この音韻圖によつてみても、いかに我々の運動が單なるローマ字運動でなく、我々の言葉そのものから始め、そしてそれに終る國語運動であるかゞはつきりと思ひます。

KOKGO VO MAMORE!
BEI-EI VA VARERANO TEKİ DA, MAMORE, NOBASE, NICPONGO!!

日本音字文法 (表音法)

日本音字の表音法は、大體は國語音韻圖で示した通りであるが、習慣上特殊の綴りがあるため、それを出来るだけ例をあげて示す。

◎長音の部から始める長音のシルシは **u** であるから、規則通り書けば、**アー au, イー iu, ウー uu, エー eu, オー ou** であるが、このうちイ韻とエ韻だけは(イー)(エー)ではなく**イイ エイ**と書く。

例 スイイ=sii シイ=sji テイ=tii チイ=tji
セイ=sei シェイ=sjei テイ=tei チェイ=tjei

◎**アー ウー オー** は **au, uu, ou** と書く。

例 サー=sau スー=suu オー=sou

◎ウ韻の標準音は **w** を書く。

例 weno (上野) wssgi (ウサギ)
wiskji (ウイスキー) kowma (仔馬)
kowta (小唄) kouta (コータ)

◎母音の前のウ列子音は **u** を書く。

例 sue=スエ kui=クイ muon=ムオン
tuy=ツウ suvar=スワル sui=スイ

◎促音は **c** を書く。

例 ac アツ ec エツ oc オツ
Niepon (ニツポン) stock (ストック)
gackou (学校) yetari (ユツタリ)
bickri (ビツクリ) saepari (サツパリ)
teta (ツツタ) icta (イツタ)
nemeta (ネムツタ) kacke (カツケ)
weta (賢つた) sjackri (シヤツクリ)

◎撥音は **n** を書く。

例 ranp (ランプ) konb (コンブ)
sanpo (サンポ) anmin (安眠)
kenp (絹布) eonda (ソンダ)
kanda (カンダ) tonda (トンダ)
sinbn (新聞) gnkan (軍艦)
kenkou (ケンコー)

◎**n** の次に母音が来る場合は **q** を書く。この場合 **q** は發音しない。

例 konqi (コンイ) anqja (暗夜)
sanqen (サンエン) sinqai (親愛)
senqyu (戦友) danqva (談話)
kanqy (カン油) tanqon (單音)

〔q を書く説明〕本来ならば、コンイは kon-i 亦是 kon'i とすべきであるが、點や棒は書く上から書

つて全く不便であるばかりでなく、萬國電報通信に於いて點や棒は一語と計算され、従つて(コンイ)は konqi と書く一語の料金で済むに反し、kon-i と書くと、三語の料金となり、日本としては非常に損である。現に我が外務省でも、通信社でも、新聞社でも、貿易商でも、點や棒は使用せず、各々独自の綴り方をしているのである。

◎子音のヌは何時でも **nu** と書く。

例 inu (イヌ) tanuki (タヌキ) numa (沼)
nusi (主) nuka (ヌカ)

◎唇音の **g** と鼻音の **g** の綴りについて。

唇音の **g** と鼻音の **g** はハツキリ音が違つてゐるから、本来ならば、唇音の **g** は **g**、鼻音の **g** は **g'** とでもすべきであるが、日本語に於ける標準語では、**g** が行が言葉の初めにあるときは何時でも唇音であり、二番目以後の時はいつでも鼻音であるから實用上では區別しなくともわかるのである。従つて區別しないのである。

例 gan ガン これは初めに **ga** があるから、**ga** は唇音である。
rakgan 落雁、これは二番目以後に **ga** があるから **ga** は鼻音である。
ginkoon の **gi**=唇音 sanagi の **gi**=鼻音
German の **Ge**=唇音 tokage の **ge**=鼻音
gobou の **go**=唇音 anago の **go**=鼻音

日本音字 A I U E O 順の覚え方

日本音字29字の順序は、音聲器管の位置の順序をもとにして、きめてありますから、この理屈をよくのみこむでよくと、非常に樂に覚えられます。先づ第一は、**A, I, U, E, O** です。次は **JA, J, Y, JE, JO, VA, V, W, VE, VO** です。これは母音字となる文字ですから、初めに覚えねばなりません。次は **H** です。これは喉を一番多くつかふ音です。次は **K, G, Q** です。これは舌を多くつかふ音と覚えればよろしい。次は **P, B, M** です。これは唇を多く使ふ音と覚えればよろしい。次は **S, Z, N** です。これは齒を多くつかふ音と覚えればよろしい。次は **T, D, R** です。これは舌を多く使ふ音と覚えればよろしい。即ち音韻は、喉・唇・舌・齒・舌といふ順序であると覚えておけば、凡らく忘れることは無いだらうと思ひます。

日本音字文法 (表語法)

日本音字(日本語ローマ字)の表語法は先ず國家が字母を制定し、しかして表音法をきめ、それからきめらるべきが順序であるが、ローマ字は現在使用されてゐるので、たとへ理想的な文法でないとしても、一つの標準的なものがないといふことは、實用者にとつて不便であるため、此處に一つの基準を示したのである。従つてこれ以上優れた文法が発見されれば、どしどし修正してゆく考へである。

◎表語法は一語づゝ離して書く。

例 msi sika karas smou otamazjaksi
鹿 鹿 島 スモウ お玉杓子
zitni sarani sikarni saredo
實に 更に しかるに されど
kokoronarazmo vagamama sarinagara
心ならずも 我儘 ざりながら
naomo
尙も

◎形容詞の語尾のイ韻は **j** を書く。

例 atuj samuj amaj karaj ouj sknaj
暑い 寒い 甘い 多い 少ない
nemuj sepaj nigaj sbarasij tjisaj
眠い すばい ない すばらしい 小さい
jasasij msaksij takmasij sourasij
優しい むさくるしい たくましい そうらしい

◎動詞連用形のイ韻は **j** を書く。

例 matj (mati) kasj (kasi) karj (kari)
待 町 貸し 菓子 借 雁
torj (tori) arj (ari) obj (obi)
取り 鳥 有り 蝦 帯 帯

◎文章の始めと固有名詞の頭文字は大文字を書く。

例 Nicponkwugn va Sidonji vo bakgekiserj.
日本空軍 は シドニー を 爆撃せり。
Bonbei-simin va zokzok hinan vo
ボンベイ市民 は ぞくぞく ヒナン を
kaisiserj.
開始せり。
Karkacta ni Ganzji va kyukousjta.
カルカッタ に ガンジー は 急行した。
Meziro Sgano Trmi Ebis Outka
目白 巢鴨 鷺見 えびす 大塚
Weda Katou Yri Oukra Mitui
上田 加藤 由利 大倉 三井

◎助詞の **no** は固有名詞、普通名詞以外の場合、語尾につけて書く。

例 arno de ar, kimino antano bokno
アルノ デ アル 君の あんたの 僕の

soreno, konnano va, agetano da
そのの コンナノ は あげたの だ
kokono sokono jasasino vaskano
ココノ ソコノ 優しの 僅かの

◎動詞表現のうち、從來ワ行活用即ち終止形の **フ** で書いてみたところは **w** を書く。

例 合ふ=aw 乞ふ=kow 吸ふ=suw
舞ふ=maw 負ふ=ow 支拂ふ=siharaw
この **w** は將來カ行、マ行、サ行、タ行其他にもこのカタチが及ぼし
勝つ=katw 漏る=morw 死す=sisw
焚く=takw

といふようになるかも知れないが、それまでには、多少の歴史を要すると思ふ。現在は(ふ)だけを **w** と書き他は全部名詞の語尾と同じ書方にして置く。

◎イ韻の長音は **ji** を書き、ウ韻の長音は **wu** を書く。

例 Sjimens ozjisan Tjihwu
ジメンス オジイサン チーフー
twusin twuring hwuget
ツーシン ツーリング 風月

日本音字で書いた文章

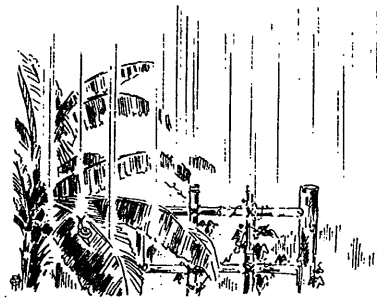
Niepon Onzi va Jouroepa toka, Azia toka,
日本 音字 ヨーロッパ
Amerika toka iw minzok no mozi vo
いふ 民族
norikoeie, ningen no koe vo wtsjta mozi de
人間 寫した
arimaskara, sekai no dokono kni no kotoba
世界
demo wtsemas, Sitagacte Niepon Onzi ga
従つて 日本 音字
Jouroepa no ABCD 26 niozi ni kavacte,
ヨーロッパ アブシド 代つて
sekai no hjouzyn mozi ni narno va, mactak
標準 全く
tokino mondai de arjmas.
問題

日本音字で書いた句歌

Natgsa ja tuvamonodomo ga yme no ato
夏草 や つばもの共 が 夢 の あと
Asagavo ni trbe torarete morajmis
朝顔 に ツルベ とられて 貰ひ水
Hitokoo va tki ga naitaka hototogis
一峰 は 月 が 鳴いたか ほととぎす
Gjouzui no stedokoro nasj mei no koe
行水 の すてどころ なし 蟲 の 聲

始ての方のために
やさしい

NICPON ONZI
(日本語ローマ字)



Tuy to Tuy
Nicpongo deva
onazi kotoba de
tigacta kotogara
vo simesjmas. Tuy va rokgatgoro
hr nagaame no koto tuy va Nat ja
Aki no jo ni ksa ja ki no ha nado
ni msb tjisaj miztama des.

NICPON ONZI とアクセント

梅雨と露は漢字では分りますが、NICPON ONZI では分らないから NICPON ONZI よりも漢字の方がよくはないかと考へられるかも知れません。ひと理屈あります。又漢字でも梅雨露などのやり方でアクセントを示すことも出来ませう。しかしアクセントは正しく話されて、始めて確かに現されると考へられますから、先づ言葉を音韻的に現さねばならない。梅雨と露にしても、*tuy'*, *tu'y* と現して、誰にでも分るしかもさうなれば、*tuy'* は *tuyw tu'y* は *tuy* とすれば書き方でも分けられませう。i と j u と v は手軽に行きますが、語尾の a. o. o の場合はどうかと云へば、例へば樓と妻。これは *ma'* と *ma* でせう。*tma'* は *tmva t'ma* は *tma* で分けてもよい。しかしこの點についてはもつ

と突こんだ研究をせねばなりません、つぎと發表出来ると思つてゐます。

漢字や假名に比べて、ローマ字が讀難いと云ふ方もありますが、それはこれまでのローマ字が假名をなほしたわけのものとして讀まれる、例へば櫻にしても、サ・ク・ラ *sakura* でサくら *sakura* ではありません。我々は NICPON ONZI が國字として採られたならば、そのやうな假名のなほしとしてなく、言葉としてのちのあるもの、即ち樓は *tmva*。妻は *tma* として覚え、書かれ、話されなければなりません。

アクセントが一つ一つの言葉にどこにあるかは獨りでは決めることは出来ないのは云ふまでもなく、又我々はそのやうな大それたことをしようとは思はない。NICPON ONZI は「日本語字」(本會發行) 第十頁にもはつきり書いてあるやうに、「その根據は國文法」にある、しか

し「日本語を體づけるに有力な方法」であることは、このアクセントの場合にも云へます。即ちアクセントがどこにあるかは學者の御研究に俟つて、只その御研究の方法として NICPON ONZI を使つていたゞきたい。又さうすることによつて、何かそこに新しいアクセントの文法が生まれはしないかとの望をかけずにゐられないのです。

いつもいふやうに NICPON ONZI は誰のものといふのではなく、我々が血のつながりに於て、我々の言葉そのものを科學的に觀て行かうとするだけのものにほかなりません。このいちばん奥底にあるものさへ分つていたゞけば、現し方の細かいことは、自ら決つて行くのではないでせうか。

綴り方に就て

NICPON ONZI は音韻と歴史とをもとにします。即ち血の繋りに於て培み、育てられた我々の言葉を、出来るだけ正しく、出来るだけ確に現さうとするものであつて、そのため使ふ文字を米英流でなしに、我々の音韻のまことに基いたものとする。即ちこれまで a b c d... と覚えられ、使はれたものを、先づ a i u o... に改め、それを音韻のまことに基いて組立て、音を表して語をつくり、語をつくつて文とするのです。故に文字としては先づ a i u e o... を決めねばなりません。

〔文法〕 NICPON ONZI の字母は29で、この字母の組合せ方で表音を示す。

母音素				子音素			
a	i	u	o	o	h		
ア	イ	ウ	エ	シ	フ		
ja	j	y	jo	k	g	q	
ヤ	イ	ユ	エ	ク	グ	ク	
va	v	w	vo	p	d	m	
ワ	キ	ウ	エ	フ	ド	ム	
				s	z	n	
				x	z	x	
				t	d	x	
				ツ	ズ	ル	

q は極く近頃 o と同じ意味で、しるしの一つとしてなくてはならなくなりました。f, l, x 等も或はこれから先にはいる様になるかも知れません。とに角上の二十九字を知つておけば、誰にでも使へるのですから、いかに NICPON ONZI が手軽であるかは分りませう。難しいのは、そ

れでどんなに我々の言葉のまことの姿を育て、行くか、これまでの文化をそれでこれまでのやうにこなすか、それからそれでこれまでよりもつとすぐれた文化を現して行くかといふことであります。それには、とに角言葉をそれで現すといふところから、言葉はすべて NICPON ONZI になつてゐるところまで行かねばなりません。革新の燃えあがる、しかも粘りある、鋭い同志の方を、我々は今か今かと待つてゐます〔文法〕表音の書き方は母音は文字そのまゝとす。

〔文法〕子音の表音は、ウ列の子音に母音を加へて表す。

この原則となつてゐる文法では巧く行かない場合が出てくる。原則は同じものから組立てられるが、文化では同じものといふことは難しいので、たゞ一つの原則では決められない場合が出てくるのは、やむを得ないことであると思ふ。*tuy* はこの決められぬ場合で、〔例外〕ウ列子音、即ち次に母音がなくてもそれだけを示す子音の次に、母音がある場合に、必ず *u* をつける

書き方に就て

NICPON ONZI の文字は直線と曲線とから出来てゐますから、このもとさへはつきりすれば、手軽に習へます。始ての方にはペンより鉛筆の方がたやすく習へると思ひましたから、こゝに鉛筆で書いてみました。

鉛筆を使ふ場合、氣をつけねばならないことは、一とこだけ使つてゐると、線の太い細いが出来てきますから、ペンは廻しながら使つて下さい。さうして太い細いのない、はづみのある、一口で云へば文字としてのいのちのある字を書いて下さい。鉛筆ですから、形はとりやすいと思ひますから、手本をみて習つて下さい。字の形は色々出来てきますが、手本のやうなのがいちばん分りやすく、書きやすいでせう。分りやすく、書きやすいことが書き方のいちばんのものです

Tuy to Tuy Nicpongo deva onazi kotoba de tigacta kotogara vo simesjmas. Tuy va rokgatgoro hr nagaame no koto, tuy va Nat ja Aki no jo ni ksa ja ki no ha nado ni msb tjisaj miztama des.

BARENBAN ni SAK RIK no RACKASAN

Barenban nite

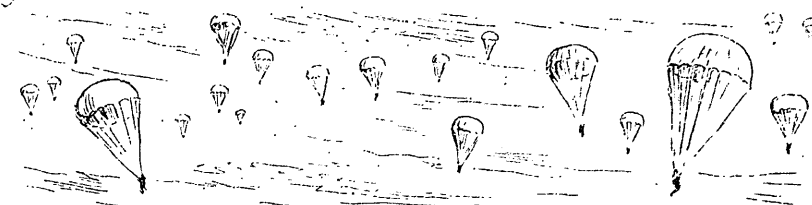
軍報道班員手記

Kitjou (機長) ga sakenda. "Barenban da!" Nisi-Higasi ni nagak nobiteor mati ga, kava vo hasande jokotavacteita. "Jousi kitaso!" Kitjou no srđoj koe ga tzuaita. Karadazyu ga denki ni wtareta jouni birictosita. Kavo ga kovabacta. Teki no tama va tonde konakacta. Barenban no mati va kackiri hidarini mieta. Sosite hikouzjou va manminami no tokoroni mieta. Beton de katameraretasij sberimiti ga hikacte mieta.

VATAYKI NO JOUNI

Ou ksahara da. Oriino va soko da. Hikouki ga inazmano jouni oriteyk. Hentai (編隊) ga mina onazi sgata dacta. Takasa vo simes hari ga krkr sagacteicta. Krokmo vo tourisgita. Avoj ksahara ga, menomae ni wkabideta. Tekino tama ja hibana nado va vakaranakacta. Ac, macsitano hikouki kara kroj katamarj ga tobidasita. 1 t, 2 t, 3 t, 4 t, 5 t, ija, macsita-

bakari deva naj, migi kara mo, hidari kara mo, vatayki ga otinujouni tobidasita. "Jacta! Jacta! Ou, jacta!!" Sono sakebigoe to onazitoki dacta. Kikanzyu ga wnaridasita. Varera va wsironi nokezocta. "Nanda, sg soba de wctejagacta." Sonotoki macsiroj mono ga pac, pac, pac to wita. Rackasan da. "Banzai! Banzai!" Kasa ga hiraitano da. Hikouki ga tckom jouni naomo sagacteicta. Ac, kosjakna tekinojat mo wcteir. Dondon. Taihounooto ga todorok. Nagarebosi no jouni, hikactajat ga macsgni tonde kr. Hikaridama da. Hanqen vo egaite, tonteyk tama mo ar. Mata kousjakikanzyu (高射機銃) no tamaszi mo mier. Tiksjou, tiksjou. Hikouki ga migini krcto mavacta. Zac, zac, zac, arasino jouni gombajasi vo notawtimavacta. Hikouki va gombajasi to sresre da. Hidarino houni V mozi gatano hikouzjou ga mieta.



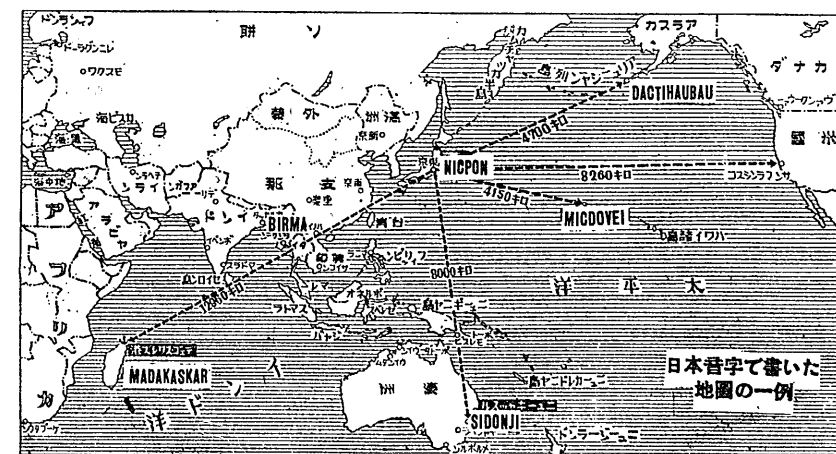
Hirapectaj kanzi ga sita. Tjisaj hikouki ga 4t 5t mier. Kaknouko ga mienaj. Tento ga 3t 4t hikouzjou no kitagava ni mier. Soko ga kousjahouzinti (高射砲陣地) no jou da. Hikouki no migigavani deta. Ac, mier macsirono yribatake da. Kirej da. Sbarasij nagame da. Josi, seikou da. Itnomani hakidasitan darou. Heiki (兵器) rackasan ga rackasanhei no atama no weni acta.

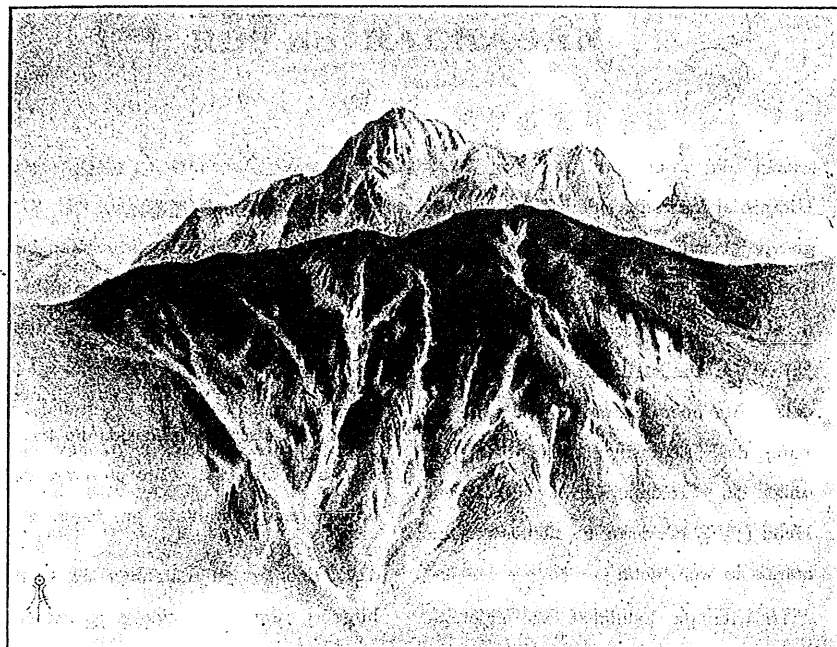
Hidarite ga kaminoke vo nigicteita. Hagisiri mo siteita. Au, korede joj. Ansinsita. Me ga hazimete we vo miageta. Wmenohana vo oukik tiribameta jouni

kousjahou no enmak (煙幕) ga acta. Koreizjou nanimo vakaranakacta. Hikouki va naomo gombajasi vo tobimavacteita. Nao seiyszjou (製油場) no hou mo wmakuicta.

Wizin no katidoki va takakacta. Konohi no yugata msen va hikouzjou no kanzen senrjou vo siraseta. Hito no tikara deva hakarisirenaj kamivaza ga togeraretano

da. Hinomar ga Barenban no sora hirgaerj, arasino katidoki ga Minami-hankyu no smizmini kodamasita. Sekai-sensi (世界戦史) ni san to kagajak rekisi no i. peizi ga mata hazimacta.





(Szkli Senzou #924)

KROBEBETZAN to TRGIDAKE

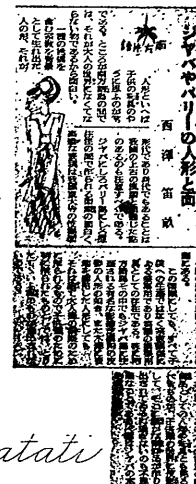
Vatasi va jama ga skida. "Wsi ja vuna ga nojama ni hanatarete, avoksa ni nazmi, sika ga onokara tanimis ni tkujouna" to tare ka ga imizikmo icia ga, jama vo kagiri-nak natkasim kokoro va, vakaj koro kara, vatasi ni jama vo arkaseta. Kotoni oukisa kivamarinaj "Krobe no Tani" va, kasuar jama no omoide no wti demo, moctomo tujok wkabider. Ou, Krobebetzan to Trgidake no sgata jo!

Varevare va Daitouasensou ni oite akmade tujok, takmasik nobiteyk tameni va, kono ouinar jama no sgata ni tokekomaneba naranaj.



ZJABA ja BARJITOU no NINGJOU to OMEN

朝日に就せられたものを、NICPON ONZI に直してみました。朝陽の輝きで手短かにしましたが、NICPON ONZI の方がよい、書きやすい字體は、これでしょうか。實際書いてみて、これなら我々の書法がうつせるのではないかと感ぜられます。書くことから、文字に言葉のいのちを直感せられるやうになるのではないかと感ぜました。



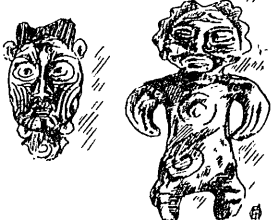
Ningjou to ieba kodomo no
omotja no jou ni omovarernoga
htivu de ar. Tokoroga
Mizraminichousdeva sorega stonatati
ni naktevanaranaj mono to nateorhara
omosiroj. Hitotno meisin vo hkm
syukjou kara umaredeta hitonskatati
Dorega ningjou de arj migavarj de ar
koto va vagakni no toujmhasi no
naravasi to jok niteor.

Zjaba nisiro Barjitou nisiro zyuu
min. no aida de thrarer omen no
omosirosa ja mijabijahana aravasihata

va vagakini Joudaizi no gigakemeri
to tranaryno arno vo zomovaseri

Kono omeru nisitemo sbete kodomotati
no tameni thrareta mono deva naki
syukjou kankei ni jor omatrijou no
tame de ar

Minami no zyumin no naka demo
Jyaba de thrarer ano yumeina hagee
sibai ni thaw kavazhrino ningjou ja
hiboy ni sakeme vo oujousita ningjou
nado va minna otomari mo thamen
thraretano de ar. Sousite housita koto
ga kodomotati ni hibjite
vazhabakarino kodomotati
no omotja ga thrareta.



HOTAR no HIKARI

Simaz Tomizi



【評】「實に貧弱なもので」とへりくだられてありますが、なかなかどうして、よく書けました。只 madono は mado no, humi は hmi, kasane tt は kasanett, sugi noto は sgi no to, aketezo は akete zo, kesava は kea va, juku は juk (以下略) のやうに、まだ板につかないところが玉に疵でした。御自重を祈つてやみません。

五月號課題解答

① Monosgok msjat(r)j Hanoi demo 10gat ni
nar to ② Aki ni narj ③ kion mo hode jok ④ sora
mo harerinbde ⑤ imamade atsa ni osjtsareteita
seisin ga mezamer yoni nar. 10gat kara 4gat
hazime madeno szsj kikan ga nakereba ⑥ Hanoi
va osorakva daitosi to site haetatar kota ga deki-
nakacta ni tigaj naj. (長谷川忠男君)

【評】▶ () 又はハはそのやうに改めた方がよろしい。msjatj で sja と書便になつても、次に atuj とくれば、分ると思ひますが、氣持悪ければ msiatuj でもよいでせう。10gat kara—naj はすつかり書直されば、ぐつとくだけません。長谷川君は kikan といふ語だけに就て、云つてありますが、期間もすつかり書かへれば、使はなくてもすみます。

七月號課題

ローマ字文譯は漢字を想ひうかべることなしに分る名譯で、日本音字を使つて下さい。よく出来た方には薄謝進呈。ローマ書道は作品として誌上に発表出来るもの、題材字體は御自由。發表の作品には薄謝進呈。

バリ島はバリ海峡を距て、ジャバ島の東に列なり小ジャバとも呼ばれる。北はジャバ海、フロレス海、南は印度洋に臨み、小スンダ列島の戦略的要地で、島内のジンバラン飛行場は敵空軍の有力な基地となつてゐたが、去る五日わが海軍はこれを猛襲し、敵八機を撃墜破してゐる

六月號入選者氏名

ローマ字文譯 長谷川忠男君、島津富次君。
ローマ字書道 島津富次君。

HENSYUNICKI

▶NICPON ONZI は手を加へることが出来ないやうには、形はまだ整つてゐない。恐らくいつまでもさうであらう。何故なら形は獨りで決められるものでなく又決めるべきものではない。我々はたゞそれが國字として、我々の言葉を育てあげるのに、力強く踏出して行くといふことだけで、満ちたりものを感じる。四月號から僅か三四ヶ月ではあるが、簡単な文法、マレー語との調和、その地位等々々に本質的なもの、急なものと取組んでゐる。

▶雑誌の使命が深く反省されてきた。「ローマ字書道」は NICPON ONZI 運動のいのちとして生きて行くそれは國民の胸へくひこむ情であると共に、國民の頭へはいる知でなければならぬ。「動」と「静」との一つである。NICPON ONZI が美しい花、豊かな實をつけたときには、又今とはちがつた姿をとるであらう。

▶NICPON ONZI はまた生であるから、原理的なものにも出来るだけ力をいねばならないが、とにかくそれは實際を離れては何もならない。又雑誌の使命から云つても、作品を第一とせねばならないであらう。「綴る」上からも、「書く」上からも、すばらしい傑作を出さねばならない。

▶この意味からどんな小さなものでも、我々は心から望み、喜び、育てるつもりである。NICPON ONZI を離れてなら、一流の方々にもお願ひ出来るであらう。しかしそれでは「ローマ字書道」にとつては意味をなさないかも知れない。又味の無い、何か満ち足りた調子は、「ローマ字書道」が親しみにくいものに感ぜられるであらう。我々は出来るだけこの調子を破りたい。

昭和十七年七月五日印刷納本
昭和十七年七月十日發行
編輯者 香川義一
發行者 吉田輝彦
日本出版文化協會會員番號143012
東京市豊島區目白町三ノ三六〇〇
印刷者 渡邊謹爾
東京市小石川區久堅町一〇八
(東京204)印刷所共同印刷株式會社
東京市小石川區久堅町一〇八

發行所
ローマ字書道研究會
東京市豊島區目白町三ノ三六〇〇
振替東京 183303番

配給元
日本出版配給株式會社
東京市神田區淡路町二丁目九

ローマ字書道 第二十五卷 第七號 (毎月一回發行)
昭和十七年五月十二日第三種郵便物認可

◎ 一ヶ月 十八錢 (送料一錢)
一ヶ年 (十二冊) 二圓十六錢 (送料十二錢)
▶ローマ字書道の御購讀はお近くの書店へお申込み
▶下さい。出来れば何月迄と預約しておいて下さい。◀

(日本標準規格B列5號)

と努めてゐる。しかしいちばんもとは、出かけてゐるNICPON ONZI の若芽が、まだ花を咲かせるまでになつてゐないためである。この若芽を育てるのが「ローマ字書道」の役割であると思ふ。

▶NICPON ONZI が若い方々にどんな感激を與へたかは、次の島津君の作品へ添へたお手紙でも分る。

「五月號五月二十五日拜受。早速拜見しましたが、實にお言葉通り何の頁も何の頁も益になり、且其の御努力に對して頭が下るのみです。最終の頁、小池氏、堀田氏の立派なもので、私も出来ないかと真似しましたが、實に貧弱なものです、恥をしのんで送ります。小生斷然この aiued は好きになりました。今後は皆之でやるつもりです、ローマ字はやめました。では觀望ながら……」

▶なほ加曾利聖伯のおだやかな、研究的なペン畫は多くの方々に心から愛せられてゐた。我々は今後もう一つつけのところに付けていたゞくことにしてゐる。しかし同じ調子を破る意味から鈴木聖伯に表紙と繪とに筆をとつていたゞくことになつた。聖伯はこの方面の大家であるが、NICPON ONZI の重い使命に快く描いて下さることになつたのである。我々は文の方でも NICPON ONZI の理解者を求めてゐる。「ローマ字書道」は情の面から共感を得ることを意つてはゐない。

▶大東亞戰爭の端緒極りなき作戦を懐ふと、何かしらやりとげねばならないものを感じる。NICPON ONZI で我々の言葉のまことの姿を求めることは、この感激をもつて、始めて出来ると思ふ。我々は同じ感激をもち、しかも苦しみに堪へる方々に望をかけずにはゐられない。

▶福山に支部が設けられた。會の名はローマ字書道研究會福山支部、吉田(支部長)、高橋、岩部、眞田、土居、森島、大本、窪田、中村、鈴木、河野の諸君十一名

【廣告】

英習字の理論と實際 吉田一郎著 ¥2.80 (〒.30)
我國英習字界に一大センセーションを捲起した、
英習字界の一大金字塔! 菊判 382頁

分りやすく、書きやすい我等の國字 日本音字 吉田輝彦 共著 ¥.50
香川義一 共著 (〒.04)
日本語ローマ字の寶典として、日本音字史に劃期的足跡を残した文獻。 B 6判 43頁

ローマ字書道の理論と實際 吉田輝彦著 ¥.30
(〒.04)

新刊! ローマ字文庫第一編で、ローマ字の書き方は本書によつて始めて理論と實際とが結びつけられた。なほ著者は入朱批評の責任をもつてゐるから、本書で練習次第、ローマ字に上手になれる。英語教師、學生、實務家は是非座右に一本を! A 6判 64頁

専門字體の研究 ¥1.80 (〒.25)

製圖、圖案に使はれる字體で、これまで繪畫的に説明されてゐたものな、書法の原理から説明し、又美しい作品が集めてあり、直ぐ誰でも應用出来る! 四六判 總紙數96頁



111

I-0053



飛馬字尾
候一

大書録

初録

分類 J 1.3.0.11

拜啓

別紙昭和十二年九月二十日内閣訓令第三號(ロー字綴り方の件)
廢止の儀につき内閣總理大臣宛意見書提出致し置候に付
寫壹通瀏覽に奉供候

就ては建議の主旨徹底致し候様御高配奉願上候 敬具

財團法人標準ロー字會

昭和十四年三月四日

男爵

及石芳郎

山口銳三

門野重九郎

國際ロー字會

宮崎靜二

外務大臣有田八郎閣下

12 昭和十四年三月七日 發

I-0053

0133

謹啓

別紙本邦ローマ字綴り方に關する建白書前内閣總理大臣公爵近衛文麿氏宛提出致置候處先般内閣更迭と相成候然る處昭和十二年九月二十一日内閣訓令第三號は實際使用上官民共種々差支有之現に米國に於ける萬國博覽會本邦出品物のローマ字綴り方は該地に於て一種の物笑と相成り居り候やに傳聞致候就ては教育實業等其他一般社會に對する影響の重大なるに鑑み速に該訓令を撤廢せられ更に適當の處置を講せられ候様致し度此段及建議候 敬 具

昭和十四年三月四日

財團法標準ローマ字會

男爵

阪谷芳郎

印

山口銳之助

印

門野重九郎

印

國際ローマ字會

宮崎靜二

印

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎閣下

謹啓

今回政府に於ては内閣訓令第三號を以てローマ字綴り方を發表せられ各官廳が漸次之に順應す可きを示され候

然る處下名等は右御訓令は極めて宜しきを得ざるものと存じ賛意を表し難きを遺憾とする者に有之候

今や軍國多事不急の事を以て閣下を煩し候事はなるべく差控度存じ候處本問題はその影響する處重大にして此際と雖尙且不問に附し去る可きにあらざと存じ候間茲に一言遺憾の意を表明して閣下の御再考を煩はし度左に其の要旨を略述致候

第一の點は臨時ローマ字調査會式綴り方は其の成立に於て種々の不満足なる點ありしのみならず夫自身が不備不完全幾多の問題を藏し候爲歴代内閣は調査中の故を以て其の採擇を決行し得ざりしものと存じ候然るに今回卒爾として茲に決定發表を見るに至りしは事情を熟察せず文政上大問題を輕卒無責任に取扱はれたる憾なきか

第二の點は今回の官廳式は前記調査會式綴り方中の大切な精神が抹殺されある事に御座候

第三の點は該訓令は夫自身に矛盾撞着を藏する事に御座候

第四の點は該官廳式は理論的根據の認む可きもなく教育上不備不完全なる點ある事に御座候

第五の點は此の官廳式は非實用的なる事に御座候

なほ幾多の大なる缺陷ある儀と存じ候得共試に最後の非實用的なる點を一二例示致し候はん

(イ)外國人が官廳式 *ti si* 等の發音を知る爲には *t, s* 等は本來の音にはあらずして *ti* の *t* は英語の *church* の *ch* の *s* は *sh* の *sh* と説明せざる可からざる儀と存候今 *oni* にて七十年通用し何等の不都合なかりしを急に *ti* と改むる等の事は非實用的なる事識者をまつまでもなく日本郵船の *Chichibu* *Maur* は *Titibu* *Ma* *he* となり正しき音は發音せられざるの危険をすら包藏する事と存候

(ロ)次には是を日本人自身の爲と見る時は唇齒補車の關係にある滿洲國北支等の地名中の *Sassaku* (札幌克圖) *Changsha* (長沙) *Chufou* (曲阜) *Shihkiac* *hwagss* (石家莊) *Tientain* (天津) *Habarovsk* 等は官廳式にては何と發音致す可く候か標準式の知識なやては假に學校教育の力を以てしたりとも讀み難き儀と存候。元來ローマ字は未だ國民必須の文字にあらず唯國際關係に於てのみ是が必要不可缺を見るものなるに今や外人側よりも日本人側よりも何等の不都合なかりし從來の標準式を變改して外人側には不便日本人側には無用不完全なる式に改めんとするに至つては心ある者の嘲笑を免れざる儀と存候由來ローマ字の問題は其の根底に於て實に好事家間の一些事の如く考へらるるに拘はらず實は民族の海外進出の爲の重大問題たると同時に一面國語の純化統一發展への影響を遠き將來に豫定する虞ある重大なる文化問題たるを忘る可からずと存じ候

今回の御發令は實に標準式の子音母音より見たる一貫性もなく日本式の主張する五十音圖の直寫てう一貫せる立場をも有せず過去七十年標準式の世界に弘通し居たる實用價値を蹂躪し卒爾としある少數者のみの歡迎する新式を設定して幾多内外人の不便不平を顧慮せられざるは決して策を得たるものにあらずる可しと存候

閣下願はくは篤と本問題の真相を認められ慎重善處せられ候事を希望する次第に御座候

昭和十二年十一月十五日

謹言

南	串	島	門	姉	小	今	内	樺	竹	德	船	松	嘉	阪	櫻	門
修	田	田	野	崎	林	井	田	山	越	川	田	岡	納	谷	井	野
			勝	重		和			與			治				之
金	萬	之	九	正	一	專	勝	愛	三	家	一	均	五	芳	鏡	進
雄	藏	助	郎	治	三	郎	司	輔	郎	達	雄	平	郎	郎	二	進
印	花	印	印	印	印	印	印	印	印	印	花	印	印	印	印	印
	押										押					

内閣總理大臣 公爵 近衛 文磨 殿

分類 1. / 30. 11

外務大臣松岡洋右閣下

謹啓
今般下名等ハ内閣總理大臣公爵近衛文麿閣下宛別紙提出
致候間御参考ノ爲メ貴覽ニ供シ奉リ候
敬具

昭和十五年十二月廿一日

小林一三	今井利喜三郎	内田勝司	島田勝之助	南條金雄	松岡均平	船田一雄	竹越與三郎	門野重九郎	山口銳之助	男爵 阪谷芳郎	林毅陸
------	--------	------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	---------	-----

五竹越

謹啓

昭和十二年九月二十一日附内閣訓令第三號を以て示されたるローマ字綴り方に關しては同年十一月十五日同志の連名を以て別紙提出致し置き候が由來三年絶えず不便不合理等の聲を耳に致し候就ては茲に再び同問題に關し閣下の御賢慮を煩はしたく採長捨短苟しくも時宜に合はざるものは改善以て國利民福に資せられ候様茲に重ねて貴意を得候

昭和十五年十二月三日

敬具

林 毅
阪 谷 芳
山 口 銳 之
門 野 重 九
竹 越 與 三
船 田 一

陸 郎 助 郎 雄

印 印 印 印 印
花押

松 岡 均 平
南 條 金 雄
島 田 勝 之 助
内 田 勝 司
今 井 利 喜 三 郎
小 林 一 三

印 印 印 印 印 印

内閣總理大臣公爵近衛文麿閣下

I-0053

0138

謹啓 今回政府に於ては内閣訓令第三號を以てローマ字綴り方を發表せられ各官廳が漸次之に順應す可きを示され候。然る處下名等は右御訓令は極めて其宜しきを得ざるものと存じ賛意を表し難きを遺憾とする者に有之候。今や軍國多事不急の事を以て閣下を煩し候事はなるべく差控度存じ候處本問題は其の影響する處重大にして此際と雖尙且不問に附し去る可きにあらずと存じ候間茲に一言遺憾の意を表明して閣下の御再考を煩はし度左に其の要旨を略述致し候。

第一の點は臨時ローマ字調査會式綴り方は其の成立に於て種々の不満足なる點ありしのみならず夫自身が不備不完全幾多の問題を藏し居候爲歴代内閣は調査中の故を以て其の採擇を決行し得ざりしものと存じ候然るに今回卒爾として茲に決定發表を見るに至りしは事情を熟察せず文政上大問題を輕率無責任に取扱はれたる憾なきか。

第二の點は今回の官廳式は前記調査會式綴り方中の大切な精神が抹殺されある事に御座候

第三の點は該訓令は夫自身に矛盾撞着を藏する事に御座候

第四の點は該官廳式は理論的根據の認む可きもなく教育上不備不完全なる點ある事に御座候

第五の點は此の官廳式は非實用的なる事に御座候

なほ幾多の大なる缺陷ある儀と存じ候得共試に最後の非實用的なる點を一二例示致し候はん

(イ) 外國人が官廳式 ch. sh. 等の發音を知る爲には ch. sh. 等は本來の音にはあらずして ch. sh. は英語の church の ch. sh. の s は she の sh と説明せざる可からざる儀と存じ候。今 ch. sh. に

て七十年通用し何等の不都合なかりしを急に ch. sh. 改むる等の事は非實用的なる事識者をまつ迄もなく日本郵船の Chichibu Maru は Tihbu Maru となり正しき音は發音せられざるの危険をすら包藏する事と存じ候

(ロ) 次に是を日本人自身の爲と見る時は唇齒補車の關係にある滿洲國北支等の地名中の Sassaku (机薩克圖) Changsha (長沙) Chufou (曲阜) Shihkiachwang (石家莊) Tientsin (天津) Habarovsk 等は官廳式にては何と發音致す可く候か標準式の知識なくては假に學校教育の力を以てしたりとも讀み難き儀と存じ候。元來ローマ字は未だ國民必須の文字にあらず唯國際關係に於てのみ是が必要不可欠を見るものなるに外人側よりも何等の不便不都合なかりし從來の標準式を變改して外人側には不便、日本人側には無用、不完全なる式に改めんとするに至つては心ある者の嘲笑を免れざる儀と存じ候

由來ローマ字の問題は其の根底に於て實に好事家間の一些事の如く考へらるるに拘はらず實は日本民族の海外進出の爲の重大問題たると同時に一面國語の純化統一發展への影響を遠き將來に豫定する重大なる文化問題たるを忘る可からざる儀と存じ候

今回の御發令は實に標準式の子音母音より見たる一貫性もなく、日本式の主張する五十音圖の直寫てふ一貫せる立場をも有せず過去七十年標準式の世界に弘通し居たる實用價值を蹂躪し卒爾として或る少數者のみの歡迎する新式を設定して幾多内外人の不便、不平を顧慮せられざるは決して策の得たるものにあらず可しと存じ候

閣下願くば篤に本問題の真相を認められ慎重善處せられ候事を希望する次第に御座候 謹言

昭和十二年十一月十五日

內閣總理大臣 公爵

近衛文麿殿

南	串	島	門	姉	小	今	内	樺	竹	德	船	松	嘉	阪	櫻	門
		田	野			井			越				納			野
條	田		崎	林		利	田	山		川	田	岡		谷	井	幾
		勝	重						與				治			
金	萬			正	一	喜	勝	愛		家	一	均		芳	錠	之
		之	九			三			三				五			
雄	藏	助	郎	治	三	郎	司	輔	郎	達	雄	平	郎	郎	二	進
印	花押	印	印	印	印	印	印	印	印	印	花押	印	印	印	印	印

I-0053

000000

至	自
年	年
月	月
日	日

本邦國語關係雜件

支那人、日本語及日本事情
研究狀況調査

第 卷

記 録	外務省
至	自
年	年
月	月
日	日

本邦國語關係雜件

支那人、日本語及日本事情
研究狀況調査

第 卷

門 類 項 目 號	I 3 0 11-2
-----------------------	---------------------

I-0053

0141